

「タブレットを活用した学級活動・集団づくり」

たつの市立龍野東中学校

前田 杏

1. はじめに

本校区は、田園文化都市“童謡の里”龍野と呼ばれるたつの市の中央を流れる揖保川以東一帯で、3小学校区からなっている。近年は市庁舎をはじめ、官公庁、金融機関・商店街等の移転進出、各種工場の進出・誘致、地場産業の振興や圃場整備事業で都市化傾向が顕著になり、最近では、量販店の進出をはじめ商店街も拡大、活気をおび、新興住宅地も増加して人口が増え、年とともに純農村的様相が薄らぎ、新興都市的な特徴を呈してきている。

2. 生徒の実態

本校は生徒数が約620名の中規模校である。どの学年の生徒も素直で活発的な子が多い。しかし、3小1中で構成されているため、環境の変化に対応できず、周囲との関係づくりを苦手とする生徒も中にはいる。

現在の学校状況を発展させるために生徒自身が中心となり、学校行事や生徒会活動を企画・運営し、思いやりや協力、責任感を高める取り組みを行っている。本校は今年度、文部科学省の「リーディングDXスクール事業」並びに兵庫県の「教育データ活用研究事業」に指定されており、生徒たちは授業だけに限らず、生徒会活動の中でも端末を使ったアンケート活動等を積極的に行っている。

3. 本校の目標

(1) 本校の教育目標

東中魂 遠大なる理想 溢るゝ友情 不屈の闘志

4. 具体的な取り組み

(1) 学級目標決め

代議員を中心に生徒たちで意見を出し合いながら考えている。クラスとして1年間掲げるものだからクラス全員の思いがそこに詰まっていけない。Jamboardを活用し、級友の「目指したいクラス」も共有しながら進めていくことで、クラスの中の生活のしやすさにも繋がっていく。



(2) 自分の役割に責任を持つ

本校では、デジタル時間割を採用している。終会で行う翌日の時間割や持ち物の確認はスクリーンに投影するだけで完結。筆箱からペンを取り出し、連絡帳を取り出す行程をカットでき、一目見るだけで明日1日の流れが分かる。各係は責任を持って入力することになるので、自分の役割に責任を持つことにも繋がる。

7月16日(火)の予定		50分授業		
時間	教科	持ち物	連絡	
1	英語	1ページノート・教科書・ファイ ル・タブレット・スティーパーノート	1ページノート1ページ	
2	社会	教科書・ノート・ワーク・地図帳・ タブレット	教科書158-160ページを読む	
3	数学	教科書・ノート	スライド	スライドが今日まで
4	国語	教科書・ノート・タブレット・課題	漢字p23・はばたき	はばたき今日まで
5	体育	ブルセット	なし	
6	理科	教科書・ノート・タブレット	なし	実験予定
学年連絡		〇木曜0時	【学級連絡】	【委員会より】
担任より一言				

(3) 集団づくりにも繋がる各行事への取り組み方

生徒にとって大イベントである体育祭や文化祭。練習期間には学級練習の時間が設定される。体育祭練習は体育の授業や学活、総合を使って練習をする。大縄では、どうすれば回数を重ねることができるかを考え、Classroomに打ち込むことで記録として残り、それに合わせて跳んでいる動画もアップすることで引っかかる原因も見てとれる。



文化祭の合唱練習は音楽の授業以外に放課後15分間設定される。ここで必要になってくるのがパート練習。生徒たちはタブレットに入っている音源をパート毎に流し、それぞれ練習に取りかかる。途中、音程の確認をとるために自分たちの合唱を録音し、聞き直すことで明確な課題を見つけることができる。授業だけに限らず、様々な場面でタブレットを有効活用している。



また、生徒にはそれぞれ得意不得意がある中で、それをクラスでどう補い合っていくかが学級練習をしていく上で重要になってくる。得意な生徒だけが輝く行事になってはいけない。不得意な級友を取り残さず、同じ目標に向かって手を取り合うことで、行事を通して「集団の力」に触れることができる。

5. おわりに

紹介させていただいた内容はごく一部に過ぎず、生徒たちは1日を通してタブレットに触れる機会が多い。触れさせるだけではなく、「使い方」という部分での危険性も教えていかなければならないので、毎年講習会を開催している。正しい使い方を習得した上で、正しい活用をし、生徒主体の授業や生徒が自らつくりあげる学級の支援をしていきたい。もちろん、全てがタブレットで完結するわけではなく、言葉や文字、伝える手段はその時々に応じて選択している。我々教員は、生徒たちが社会の中で使う一つの選択肢として正しく使えるように支援している。